

映画「劔岳 点の記」応援企画を1冊にまとめては……

中央工学校 歴史館 館長 原田 静男

間もなく梅雨明けでしょう。

3年にわたり「劔岳 点の記」映画とともに過ごされた様子を機関誌『測量』から伝わっております。測量協会・瀬戸島さんの「それからの柴崎芳太郎（上・下）」により、私は小説以外の事実を教えてくださいました。時間をかけての資料調査はご苦労が多かったと思いますが、いつの間にか柴崎測量官になってしまわれるということもあったと思います。

できれば映画「劔岳 点の記」応援企画を1冊にまとめ上梓して下さい。10回にわたる出演者連続インタビューは私共観客と出演者の距離を短くしてくれ

ました。試写会から6月21日、28日と3回も4回も観るたびに実感が高まってきました。まだ観足りないところばかりです。

小説の映画化を全面的に継続した例はなかったように思います。測量協会の皆様のバックアップは大変大きな力を発揮されました。測量技術の次代への継承はもちろん100年の歩みに力をつくされた多くの方々への感謝の気持ちが編集委員の方々をはじめ皆様にあったからでしょう。

他学協会はこのイベントを見習うでしょう。沈滞化している学協会の経営にも大きな刺激を与えていると信じます。ありがとうございました。